



第36号

Email izumi-j@kanazawa-city.ed.jp



泉中だより

令和8年2月4日(水)

誰かが作ってくれた「道」～2月2日全校朝礼より～



1月25日(日)の様子

先週の大雪の日、校庭には皆さんのために除雪機を動かす校務士さんの姿や、コンクールに向かう吹奏楽部のために必死に雪をかく保護者、そして3年生の姿がありました。

私たちは、誰かが寒さの中で切り拓いてくれた「道」を歩いています。人生も同じです。困難な時、誰かが必ずあなたを支え、「道」を作ってくれています。3年生は支えてくれた方々への感謝を胸に、残り少ない中学校生活を大切にしてください。1・2年生は先輩たちの「誰かのために動く姿」を受け継いでいきましょう。

立春を控え、今度は自分が誰かのために一步を踏み出す、そんな2月にしていきましょう。

家庭教育セミナーが開催されました

2月3日(火)、令和8年度の新入生説明会に先立ち、新入生の保護者を対象に家庭教育セミナーが開かれました。石川県警察本部少年サポートセンターから講師を招き、「ケータイ、スマホの危険性と対応」について、具体的な事案をもとに講話を聴きました。講話の最後に、保護者ができることについて4つ挙げていただきました。



- ①家庭でのルールづくり……ルールは親が決めるのではなく子供と話し合いながら作る。
- ②フィルタリングの活用……スクリーンタイム、ペアレンタルコントロールなど。
- ③子供のことを知る、話を聞く…どんなことに興味があるか、今の流行は何か。
- ④保護者のSNSにも留意……子供の写真や情報が狙われている。

参加してくださった保護者の方々の感想を一部紹介します。

- ・最初に紹介されたネット用語が一つもわからず、ショックを受けました。親である自分もかなりネット依存しているので反省もあります。子供たちがトラブルに巻き込まれないようにちゃんと（子供の）話を聞かないとですね。
- ・ゲームに関する話はあまり興味を持って子供から聞いたりせず、聞き流していたことも多かったので、ちゃんと話を聞かなければ、と思った。自分もSNSをやっているので、子供の個人情報には気を付けねば、と思った。
- ・困った時の具体的な連絡先を知れて良かったです。ネットに疎いので自分自身も知識をつけていこうと思います。
- ・身近な話だということが改めて確認できました。学校でも子供たちに直接、伝えていただけたらなと思いました。



最近、中学生が被害に遭うケースが増えているそうです。学校としても、デジタル科や道徳科の授業、外部の講師を招聘しての講話などを通して、このような情報モラル教育を随時実施しております。ご家庭でも、普段からスマホやネットの使用等について話題にしていただけたら幸いです。